

**令和8年度 全国学力・学習状況調査**  
**教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

令和8年4月23日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学、英語の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**【本校と全国の平均正答率（英語はIRTスコア）の比較】**

| 教 科 | 全国平均<br>正 答 率 | 下回って<br>いる | やや下回<br>っている | ほぼ同じ | やや上回<br>っている | 上回って<br>いる |
|-----|---------------|------------|--------------|------|--------------|------------|
| 国語  | 63.9%         | ○          |              |      |              |            |
| 数学  | 57.0%         | ○          |              |      |              |            |
| 英語  | 499点          | ○          |              |      |              |            |

※中学校英語はCBT（コンピューターテスト）のため、「IRTスコア」になります。

「IRTスコア」とは国際的な学力調査で採用されているテスト理論で、この理論を使うと異なる問題から構成される試験の結果を同じものさし（尺度）で比較できます。なお、標準点は500点となっております。

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

| 領 域             | 全国平均正答率 | 下回っている | やや下回っている | ほぼ同じ | やや上回っている | 上回っている |
|-----------------|---------|--------|----------|------|----------|--------|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 63.0%   | ○      |          |      |          |        |
| 情報の扱い方に関する事項    | 70.4%   | ○      |          |      |          |        |
| 話すこと・聞くこと       | 63.9%   | ○      |          |      |          |        |
| 書くこと            | 67.4%   | ○      |          |      |          |        |
| 読むこと            | 59.7%   |        |          | ○    |          |        |

【考 察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では、単語のもつはたらきや、慣用句等の言葉の意味についての理解に課題があります。本校では今年度から、漢字、慣用句、ことわざ等を扱う「語彙力コンテスト」を1学期に実施し、高い合格率を挙げています。取り組みを継続し、基礎的な内容を確実に定着することができるよう指導してまいります。
- 「情報の扱い方に関する事項」の領域では、情報を整理したり、要点をまとめたりする力に課題があります。話し合いや資料の内容から、中心的な部分と付加的な部分を見分け、要約したり図式化したりする活動を取り入れてまいります。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

| 領 域    | 全国平均正答率 | 下回っている | やや下回っている | ほぼ同じ | やや上回っている | 上回っている |
|--------|---------|--------|----------|------|----------|--------|
| 数と式    | 67.8%   | ○      |          |      |          |        |
| 図 形    | 48.7%   | ○      |          |      |          |        |
| 関 数    | 54.8%   |        |          | ○    |          |        |
| データの活用 | 53.5%   |        |          | ○    |          |        |

【考 察】

- 「図形」の領域で、全国平均を下回り、特に、証明する事柄において、仮定となる辺や角の関係を見いだすことに課題があります。文章から必要な条件を読み取ったり、その条件を図に表現したりするなどの数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を働かせ、図形の特徴を捉えることができるよう指導してまいります。
- 「データの活用」の領域で、全国平均とほぼ同じでした。特に、データの傾向を捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することの無回答率が低い結果となりました。今後も根拠を捉え、それを基に数学的な言葉を使いながら論理的に説明する力を高めることができるよう、指導してまいります。

### 【英語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

※英語については、公表されている問題が全体の5割程度であり、国語や数学のように領域の正答率が提供されていないことから、考察のみ記載いたします。

### 【考 察】

- 「聞くこと」の領域では、目的に応じて必要な情報を聞き取る問題の正答率が全国平均を上回りましたが、発表を聞いてその概要をとらえる問題の正答率は平均を下回りました。長い文章を聞き取る中で、キーワードを適切に理解できるよう指導してまいります。
- 「書くこと」の領域の正答率が、全国平均を下回り、特に、自分の考え等を整理し、まとまりのある文章を書くことに課題が見られました。伝えたいことを書くための語彙力や、正しい語順、文法等を確実に身に付けるなど、基礎的な内容を定着させることができるよう指導してまいります。

# 令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

|   |     | できている | どちらかといえば<br>できている | どちらかといえば<br>できていない | できていない |
|---|-----|-------|-------------------|--------------------|--------|
| 中 | 全 国 | 27.4  | 50.8              | 18.6               | 2.7    |
| 3 | 東 中 | 47.1  | 41.2              | 11.8               | 0.0    |

(単位 %)

## 【考 察】

- 8割以上の生徒が、肯定的な回答をしていました。分からない問題を自分で調べたり、教師や友人に聞いて解決しようとしたりしている生徒が多いと考えられます。
- 学級で効果的な学習方法について検討したり、実践例を紹介したりして、様々な学習方法に触れる機会を設け、生徒一人一人が、自分に合った学習方法を選択できるよう支援してまいります。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

|   |     | 3時間以上 | 2時間以上<br>3時間未満 | 1時間以上<br>2時間未満 | 30分以上<br>1時間未満 | 30分未満 | 全くしない |
|---|-----|-------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|
| 中 | 全 国 | 8.9   | 21.2           | 31.5           | 19.5           | 11.5  | 6.9   |
| 3 | 東 中 | 5.9   | 14.7           | 32.4           | 38.2           | 5.9   | 2.9   |

(単位 %)

## 【考 察】

- 学習時間が1時間未満である生徒が4割以上おり、全国と比べると家庭学習の時間が短い生徒が多いと言えます。自己マネジメント手帳を効果的に活用することや、学習計画を立てる時間を設けることで、家庭学習の時間を確保できるよう、指導を続けてまいります。
- 週末課題や各教科の家庭学習など、具体的な課題を示すことで、家庭学習の習慣を身に付けることができるよう支援してまいります。目標をもち、その達成に向けた家庭学習の必要性を感じることができるよう、指導を継続してまいります。ご家庭での励ましの声かけをお願いします。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

|        |     | 当てはまる | どちらかといえば<br>当てはまる | どちらかといえば<br>当てはまらない | 当てはまらない |
|--------|-----|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 中<br>3 | 全 国 | 29.3  | 49.7              | 17.2                | 3.2     |
|        | 東 中 | 41.2  | 38.2              | 20.6                | 0.0     |

(単位 %)

【考 察】

- 約8割の生徒が肯定的な回答をしており、学習内容を次の学習につなげることができている生徒が多いと考えられます。授業の終末部でまとめや振り返りの時間を確保し、自分の言葉で学習について振り返らせる機会を確実に設けることで、より多くの生徒が学習内容を次の学習に生かせるよう支援してまいります。
- 各種テストにおいても、自分の得意・不得意を振り返る機会を設けています。普段の授業のみならず、自己の学習の成果を振り返らせ、次につなげられるよう継続して取り組ませてまいります。

4 将来の夢や目標を持っていますか。

|        |     | 当てはまる | どちらかといえば<br>当てはまる | どちらかといえば<br>当てはまらない | 当てはまらない |
|--------|-----|-------|-------------------|---------------------|---------|
| 中<br>3 | 全 国 | 37.4  | 30.2              | 20.5                | 11.5    |
|        | 東 中 | 38.2  | 41.2              | 11.8                | 8.8     |

(単位 %)

【考 察】

- 約8割の生徒が肯定的な回答をしており、将来になりたい姿が明確になっている生徒が多いと考えられます。まだ目標が持てない生徒に対しては、進路学習等を通して、中学校卒業後のイメージを持たせることができるよう支援してまいります。
- 将来の夢や目標を持っているという回答が多くある一方で、平日や休日の学習時間が全国と比べると少ない結果となっています。目標達成に向けて、毎日の学習の積み重ねが大切であることに気づき実行することができていない生徒がいると考えられます。粘り強く学習に取り組ませ、生徒の進路実現につなげることができるよう継続して指導してまいります。